



杉本議員

# 問

## 川根本町における茶の位置づけと茶業振興について



産直でがんばる

**質問** お茶は農家経済の柱である事は言うまでもありませんが、私には、お茶がある事で定住があり、集落機能の維持があり、地域経済に及ぼす影響も計り知れないものがあり、地域文化そのものが茶に所以しているものと日頃から考えております。また、観光客からも、茶園は管理された景観美観を保っているように見られていると思えます。一点目の質問ですが、川根本町の初代町長がお茶にどのような思いや理念を持っておられるのかをお聞きしたいと思えます。二点目の質問ですが、茶の振興は、新町建設

画の基本方針から主要施策にくまなく掲げられていますが、新年度以降、この計画がどのように確実に推進されるかを具体的に伺いたしたいと思います。三点目になります。茶の栽培上から見ると、茶園の際までの植林の影響で日陰地が多く見受けられます。これが茶の生育や生産性の低下を及ぼしています。数メートル幅の樹木の伐採で採光が図られ、茶の生育と生産性は格段に向上するものです。これは農家自らも集落ぐるみでの対策を考えなければなりません。町行政としての施策としての取り組みの意向をお聞きます。



品評会風景

**町長** 杉本議員のお茶の振興策、あるいは全品対策、そして茶園の周辺の問題と御指摘いただきましたので、順を追って説明を申し上げます。町長として、産業として受け継がれてきたお茶が、これからも暮らしを守る仕事として維持継続できる

よう、担い手の育成、優良農地の確保、農業近代化や土地基盤の整備、そして安心安全の川根茶が国内外の消費者から求められるよう努力しなければならぬと考えております。「新町建設計画」の中で、「川根茶ブランドの維持強化」として主要事業に位置づけられております。今年「第60回全国お茶まつり」が川根本町で開催されます。川根茶の名声が高まるよう取り組むつもりです。日陰問題ですが、日陰による日照量の減少や肥料養分の消費、有害獣や不快害虫の

侵入に伴い、生産低下の要因とも考えられます。「もりづくり県民税」の用途として竹林、里山の整備が挙げられておりますが、こうしたものを活用しながら、周辺地域の整備ができるよう、今後要望していきたいと考えております。



茶園に迫る林

# 答

## 川根茶ブランドの維持強化に努める

**質問** 日陰問題の解決により、ある農家によりまして、2割から3割の収量がアップできたという事例も伺っているわけですが、すぐに新たな施策が難しいという事であれば、実態調査なり実態の把握をしていただく考えはないか伺います。また、施策の実現に向けての御努力を切に願うところで

**町長** 茶園対策というだけで公的な資金が活用できるかというのは、色々な課題があるかと思えますが、地域住民の暮らしを守るという事で住民の方々の協力、あるいは地主の方の協力が得られ、そういう仕組みがで